サケ稚魚放流情報　No. 4

令　和　５　年　４　月　４　日
岩手県水産技術センター
漁　業　資　源　部
ＴＥＬ：０１９３－２６－７９１５
ＦＡＸ：０１９３－２６－７９２０

湾内の表面水温は７～９℃台であり、各湾で平年よりも２℃程度高めの傾向です。黒潮の勢力が強い状況が続いており、今後も水温が高めに推移すると予測されます。

動物プランクトンは、大船渡湾、越喜来湾及び唐丹湾で平年及び前年よりも多く、他の各湾では平年並から少なめの傾向です。

本県沿岸域に到達した親潮が後退傾向であることから、今後も沿岸水温が上昇していくと見られます。放流サイズに育った稚魚（2.0～4.0g 程度）※1については、適宜放流を進めてください。

1　表面水温（℃）

	野田湾※2	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/28, 29)	**7.6**	**8.2**	**8.8**	**8.2**	**8.4**	**9.2**
平年*3	－	6.4	6.2	5.5	5.9	6.9
前年同期	5.3	4.9	4.6	4.6	3.3	5.1

各湾の表面水温は７～９℃台で、各湾で平年より２℃程度高めとなっています。本県沿岸域に到達した親潮が後退する傾向にある一方で、北上する黒潮の勢力が強く、県南部沿岸に到達する見込みであることから、今後も水温が高めに推移すると予測されます。

2　動物プランクトン沈殿量（ノルパックネット鉛直 20m 曳き、mL/m³）

	野田湾※2	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/6, 7)	**0.24**	**0.73**	**0.66**	**0.63**	**0.80**	**1.84**
平年*3	－	0.76	0.67	0.49	0.52	0.96
前年同期	0.60	0.62	0.66	0.56	0.55	0.53

全体的に沈殿量が増加傾向となる時期ですが、大船渡湾、越喜来湾及び唐丹湾における沈殿量は平年及び前年同期を上回り、増加傾向にあります。他の各湾では平年並から少なめの傾向であり、特に野田湾では、２月上旬以降、少ない傾向が続いています。

3　その他

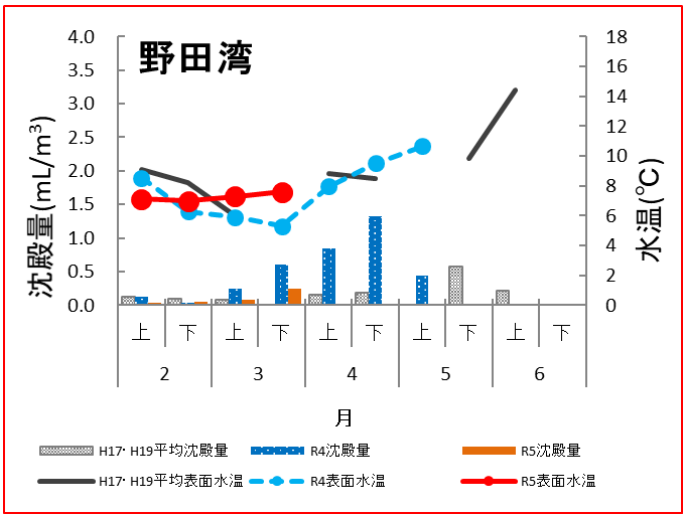
（１）　北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査（５湾）及び当センター並びに沿岸広域振興局水産部による野田湾の観測調査（図赤枠）によるものです。

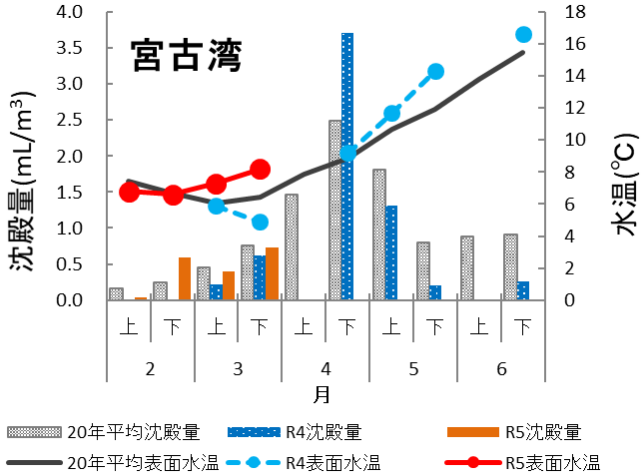
（２）　いわて大漁ナビ（https://www.suigi.pref.iwate.jp/）の定地水温情報・衛星画像や当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

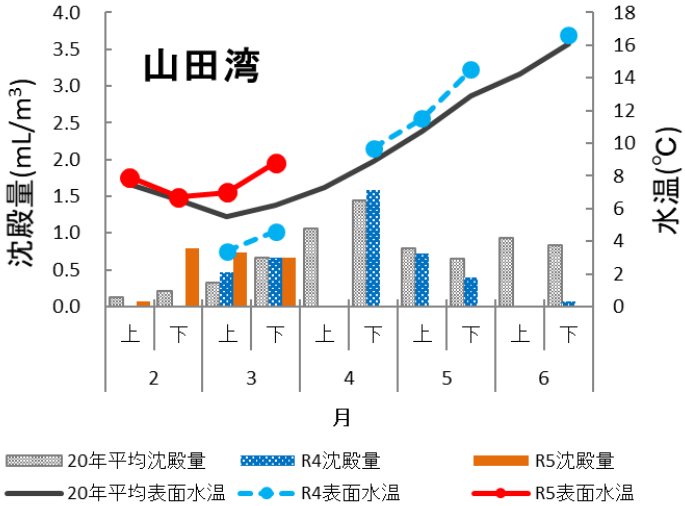
※１　これまでの本県の放流実績から、放流の重心を３月下旬に設定し 2.0g 以上のサイズで放した年級の回帰率が高い。

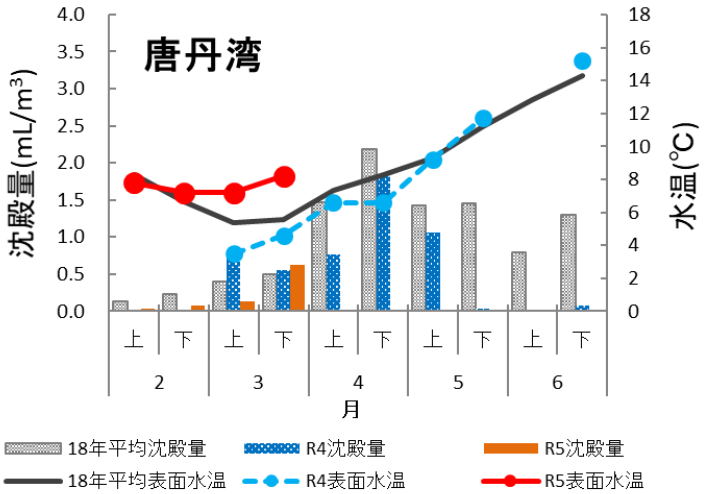
※２　野田湾は３月 20 日に観測・調査を実施、動物プランクトン沈殿量はネットを２回曳いて測定。

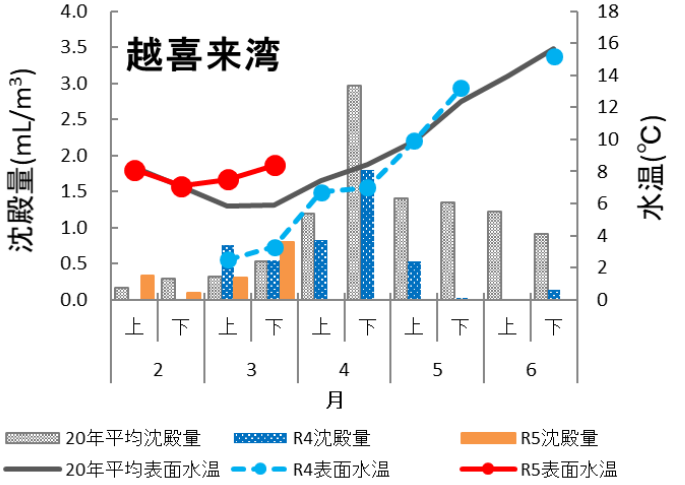
※３　平年は過去 18～20 年間の同期の平均値。野田湾は H17、H19 の北上丸及び県北水産部の調査結果の平均値。











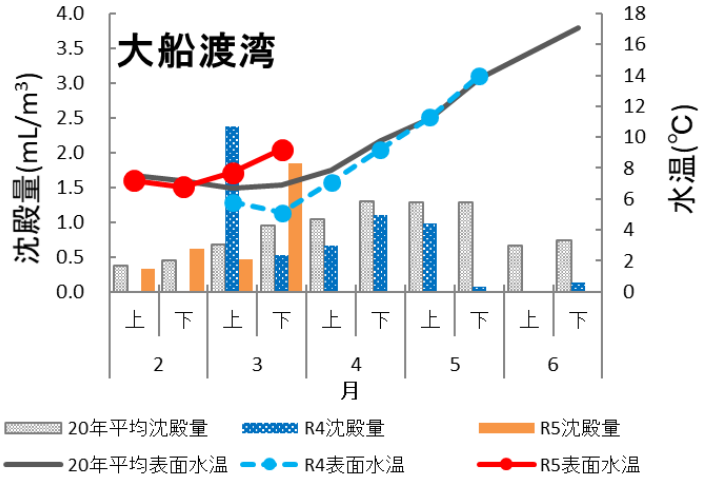


図　６湾における動物プランクトン沈殿量及び表面水温の季節変化

※水温値が欠落している箇所は欠測であり、併せて同期の沈殿量データも欠落している。